

グラビア	地域を支える人 本山実里さん・新潟県十日町市	1
発掘！地域の希望のタネ	京都府八幡市〈松花堂弁当〉	5
給食のじかん	〈本別ティラミス〉北海道本別町 山川 司	6
特集解題	人口減少時代の自治のかたち	8
焦点	下水道に続き水道も民営化へ?! 一静岡県浜松市 河村栄二	10
書評	林加代子著『多様な市民とつくる合意』 菅原敏夫	16

特集

人口減少時代の自治のかたち

インタビュー	大川村「村民総会」の検討とその波紋 —人口四〇〇人の村からの問題提起	和田知士+朝倉 慧 聞き手◎齊藤雅洋	18
	人口減少時代の自治のかたち —議会改革に可能性を求めて	神原 勝	27
	無投票当選がもたらすインパクト	河村和徳	36
	町民との直接対話による民意反映の取り組み —福岡県大刀洗町議会	林 威範	43
	上越市の地域自治区はいま —住民意思決定機関としての地域協議会	牧田 実	48
	公共空間の再生と意思決定 —多摩ニュータウン再生に向けた多摩市の取り組みから	葉袋奈美子	54

連載	「旧町村部」を歩く⑧長崎県佐世保市旧宇久町（導入編）	坂本 誠	61
連載	『月刊自治研』を読む〈第三季〉④ 瀬戸内寂聴の街論	篠田 徹	66
各県自治研活動レポート	自治研活動を通じた組織強化と人材発掘・育成 —自治労大分県本部	佐藤俊生	72
連載	まちゆうき！土佐自治研⑧ 働く仲間とともに、現業職域拡大プロジェクト！	宮本直樹	74

次号予告・編集部から 76

人口減少時代の自治のかたち

まちづくりに対する主権者市民の参加と関与は、人口減少時代の大きなテーマだ。これまで多くのことを議会や行政任せにしてきたことの弊害を踏まえ、行政の意思決定システムへの参加と関与という古くて新しい命題について、人口減少社会を切り口に考えてみたい。



インタビュー◎
「町村総会」は議会を代替できるか
人口わずか四〇〇人。離島を除くと日本最少とされる大川村で、議員のいない手不足を機に、議会に代わるしくみの検討が行われた。村が導き出した結論とは——。必見の村長、議長インタビューを収録。（本誌一八頁）

無投票選挙がもたらす「政治不信」と「他人ごと政治」
議員のなり手不足がもたらすもう一つの問題は、町村議員の約二割にのぼる無投票当選だ。主権者意識を大きく低下させる無投票当選の現状と、深刻なデメリットを検証する。（本誌三六頁）

議会改革の牽引者は総務省報告書をどう見たか
議員のいない手不足との課題を受け、町村議会を少数精鋭型、もしくは誰でも担えるものとする法改正が、総務省主導で検討されている。国による「転ばぬ先の杖」は、本当に必要なのだろうか？（本誌二七頁）

福岡県大刀洗町議会◎
議会が切り開く新たな市民参加
住民との対話を深め、その声を政策形成に活用する議会が町村を中心に増えている。議会モニター設置や対話型報告会など、住民参加を取り入れた議会のしくみを、現職の議員が紹介する。（本誌四三頁）



新潟県上越市◎
住民自治の最前線 地域自治区とは
委員の選定に「公選公募制」を採用、首長の諮問機関にも位置付けられる地域自治区が存在する。限定的とはいえ、一定の代表性を備えた地域意思決定のしくみとはどのようなものか。自治の最前線からの報告。（本誌四八頁）

東京都多摩市◎
公共空間づくりにもみる自治のかたち
人もインフラも高齢化するなか、公共空間の再生は大きなテーマの一つ。居住空間の再生に取り組む多摩ニュータウンの事例から、意思決定システムと住民参加のあり方を考察する。（本誌五四頁）